モリト株式会社

会社説明会

東証プライム　証券コード9837

2026年3月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

目　次

■　モリトってどんな会社？ …… p. 02

■　事業・商品紹介 …… p. 06

■　モリトのここがすごい！ …… p. 13

■　業績概要 …… p. 22

■　成長に期待！これからのモリト …… p. 26

■　株主の皆さまへの還元 …… p. 38

© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトってどんな会社？

© 2026 MORITO CO.,LTD.

会社概要

モリト株式会社（東証P・証券コード：9837）

MORITO

あたりまえに、新しさ。

1908年 大阪で創業
日常生活に欠かせない
小さなパーツをグローバルに展開

経済的ショックの時も
赤字にならなかった安定した業績

アパレル・スポーツ・
自動車向けなど、
様々な市場での販売網

ハトメ・ホック、
マジックテープ®など、
国内・世界でのトップシェア多数

© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトの役割

**「つなぐ・留める・飾る」をコンセプトに、製造機能も併せ持つメーカー的商社。
洋服をはじめバッグや靴、自動車など、あらゆる業界向けに様々なパーツの
企画開発・製造・調達・販売・顧客の生産フォローまでを一貫して行う。**

主力商品



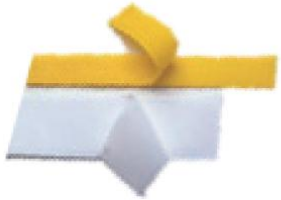
ハトメ
※ハトメ:靴・衣類などに紐を通す穴に
取り付ける環状の金具



靴ひも



ホック



マジックテープ®



アパレル関連事業



プロダクト関連事業



輸送関連事業

© 2026 MORITO CO.,LTD.

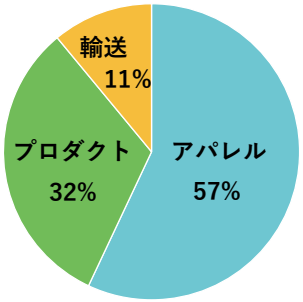
数字でみるモリト

＜2025年11月期＞
売上高　568億円
営業利益　33億円
純利益　29億円

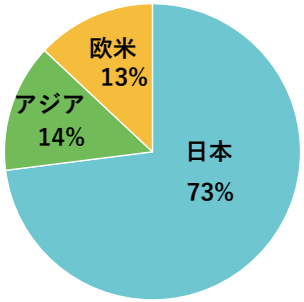
＜株主還元＞
DOE目標4.0%
配当性向50%以上
予想配当利回り3.4%※
（5月・11月：配当の権利確定月）

※予想配当利回りは2026年2月の終値（2,108円）で算出

事業別売上高構成
アパレル・プロダクト・輸送



地域別売上高構成
アパレル・プロダクト・輸送



（2025年11月期）

© 2026 MORITO CO.,LTD.

事業・商品紹介

© 2026 MORITO CO.,LTD.

アパレル関連事業

国内外の有名アパレルブランド向けに商品を多数販売。
国内有名アパレルブランドの1つでは、ほぼ100%モリトのホックを採用。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

アパレル関連事業　ワーキング・スポーツ

機能性・安全性に優れたものなど、高付加価値商品が強み。ファッション業界だけでなく、
ワーキングウェア・メディカルウェア・スポーツ・アウトドア業界向けの商品も多数。

→海外製を中心とした低価格商品との差別化

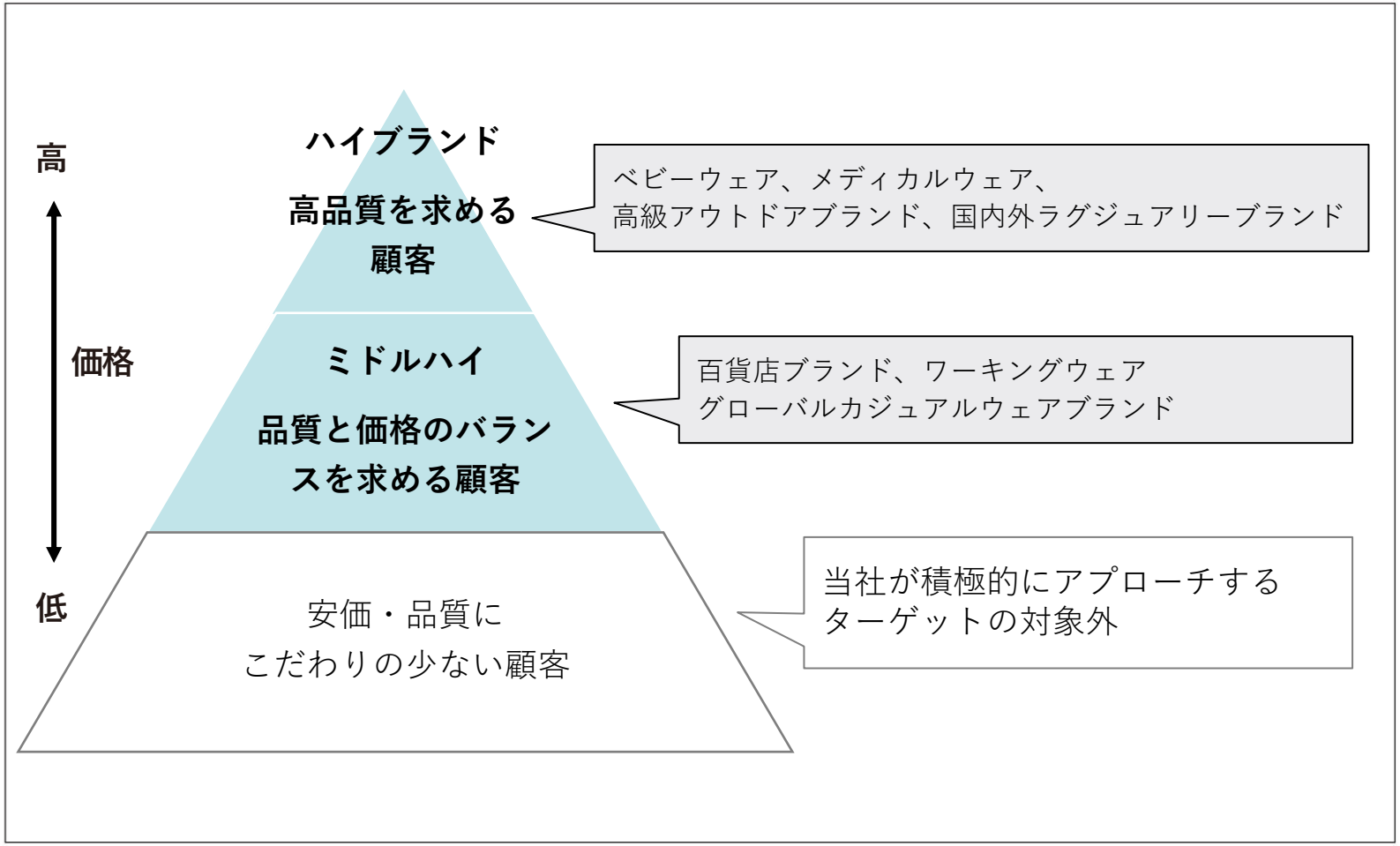





© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトのターゲット

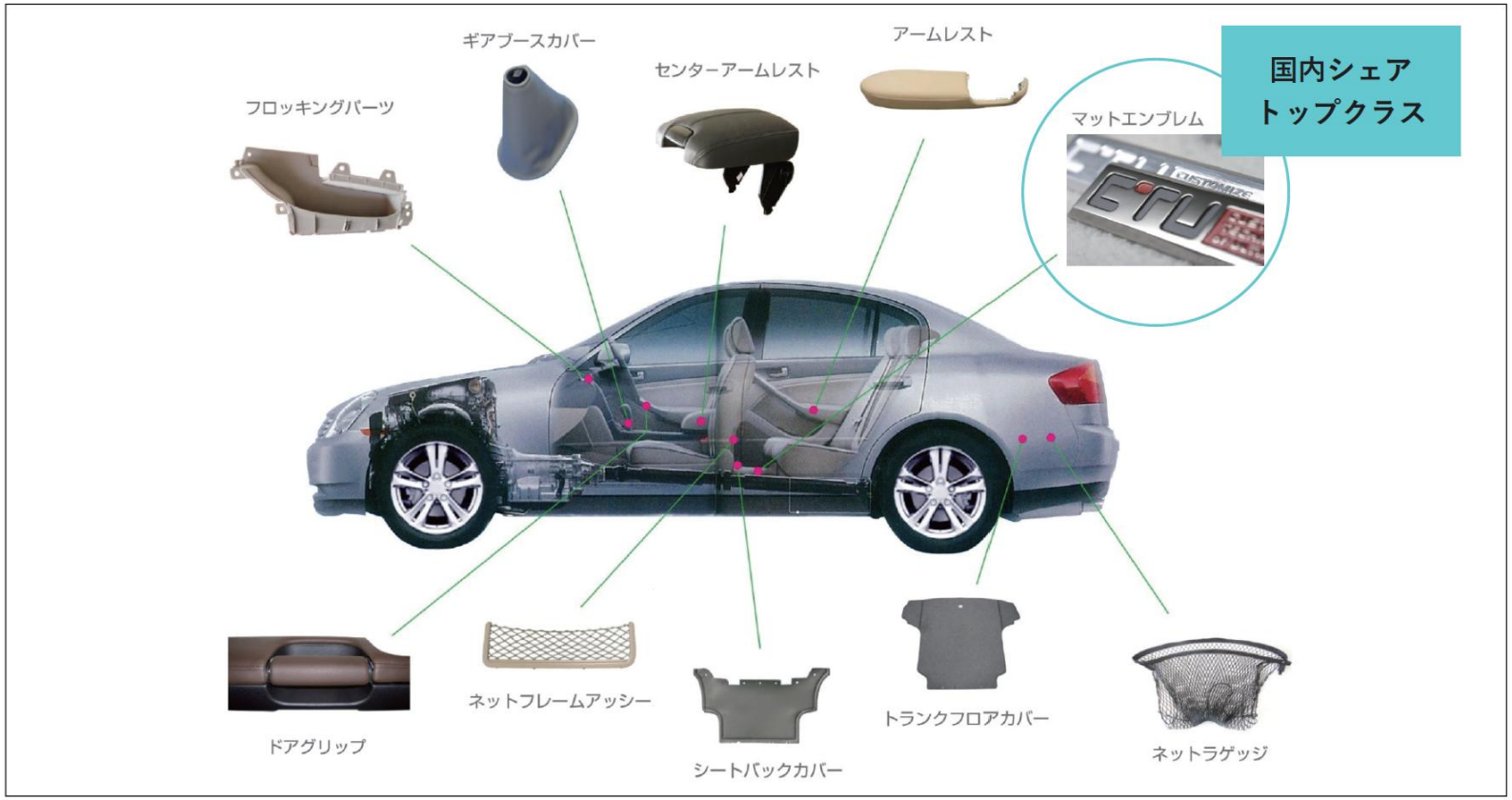
価格競争になりうる領域は避け、ミドルハイ以上の品質を求める顧客が当社ターゲット。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

輸送関連事業

**カーマットにハトメが使用されたことが始まりで、国内自動車メーカー向けを中心に
自動車内装部品を取り扱う。カーマットに付くメタルエンブレムは国内シェアトップクラス。
内装部品を扱うため、EVへ移行しても需要が見込まれる。**

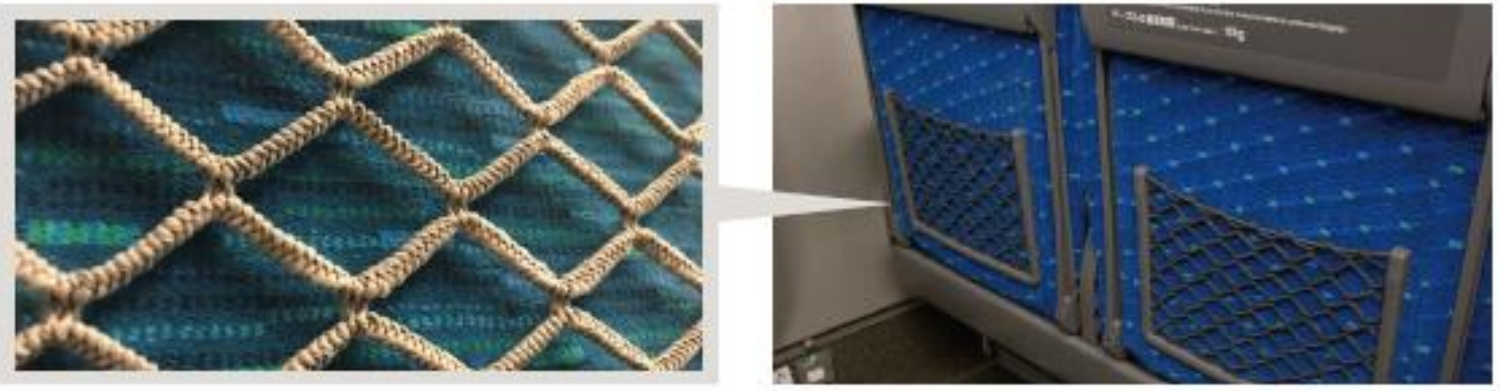


© 2026 MORITO CO.,LTD.

輸送関連事業　新幹線

新幹線の座席前についているネット状のポケットもモリトグループの商品。
結び目のない特殊な製法で作られているため、物の出し入れはスムーズに行える
ストレスフリーな商品。

（拡大）



© 2026 MORITO CO.,LTD.

プロダクト関連事業

機能・耐久性・企画力が評価され、ランドセルメーカー向けのパーツの販売、シューケア商品・サポーター・防水素材バッグの自社ブランド商品を販売。
五輪競技であるサーフィン・スケートボード・スノーボード関連商品の輸入販売も。



ランドセル



防水素材バッグ ZAT®



CHANNEL ISLANDS®



NITRO®



インソール･防水スプレー



自社ブランド サポーター



グリスフィルター



SHAKE JUNT®

© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトのここがすごい！

© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトの強み

流行に左右されにくい、生活必需品向けのビジネスが多数

＋

ポートフォリオが分散して安定した業績

＋

製造・調達・販売をグローバルに展開

＋

ニッチ分野をターゲットに、トップクラスのシェア

↓

グローバルニッチトップ

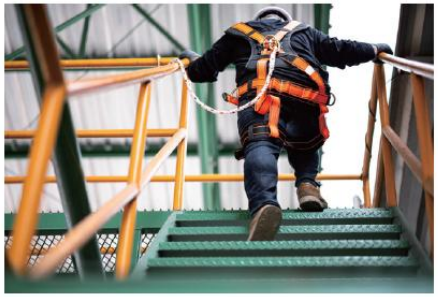
© 2026 MORITO CO.,LTD.

流行に左右されにくい、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、継続的に販売ができるビジネスが多数。官公庁向けの商品などもあり。



ベビーウェア



ワーキングウェア・ハーネス



ランドセル

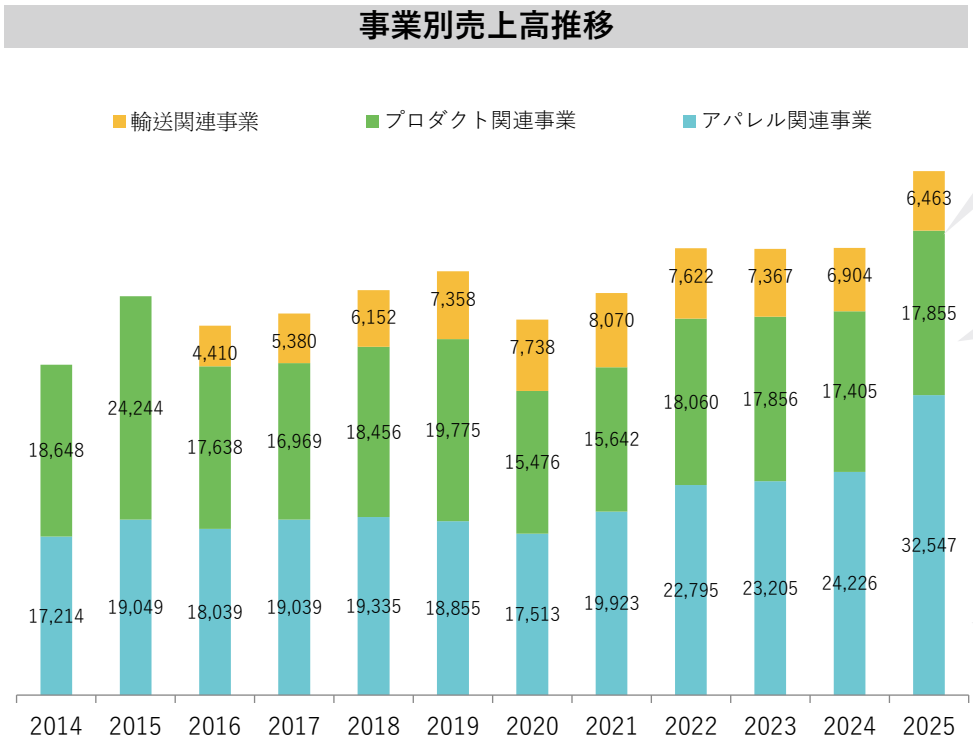


インソール

© 2026 MORITO CO.,LTD.

ポートフォリオが分散して安定した業績

1 3つの事業、多様な業界向けの商品でポートフォリオが分散
→特定の事業・顧客・商品の実績に左右されない



輸送関連事業
・自動車内装部品
・鉄道内装部品
・航空機内装部品　　など

プロダクト関連事業
・教具・文具
・スケボー・サーフィン
・シューケア商品　　など

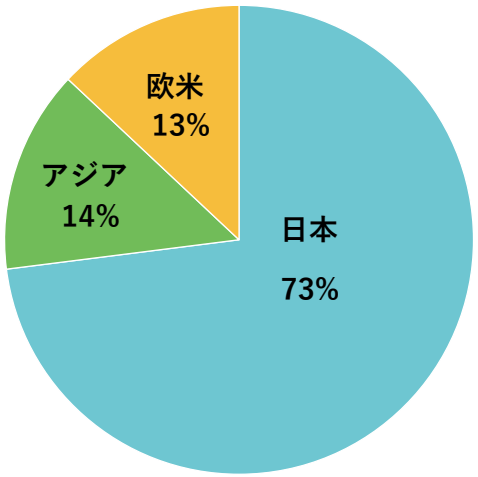
アパレル関連事業
・ファッション
・スポーツ
・ワーキング　　など

© 2026 MORITO CO.,LTD.

ポートフォリオが分散して安定した業績

2 ワールドワイドに事業を展開し、輸出入の両方を手掛ける→為替・地政学リスクへのヘッジ

地域別売上高



（2025年11月期）

輸出入の割合

輸入 ： 輸出

＝約 6 ： 4

© 2026 MORITO CO.,LTD.

製造・調達・販売をグローバルに展開

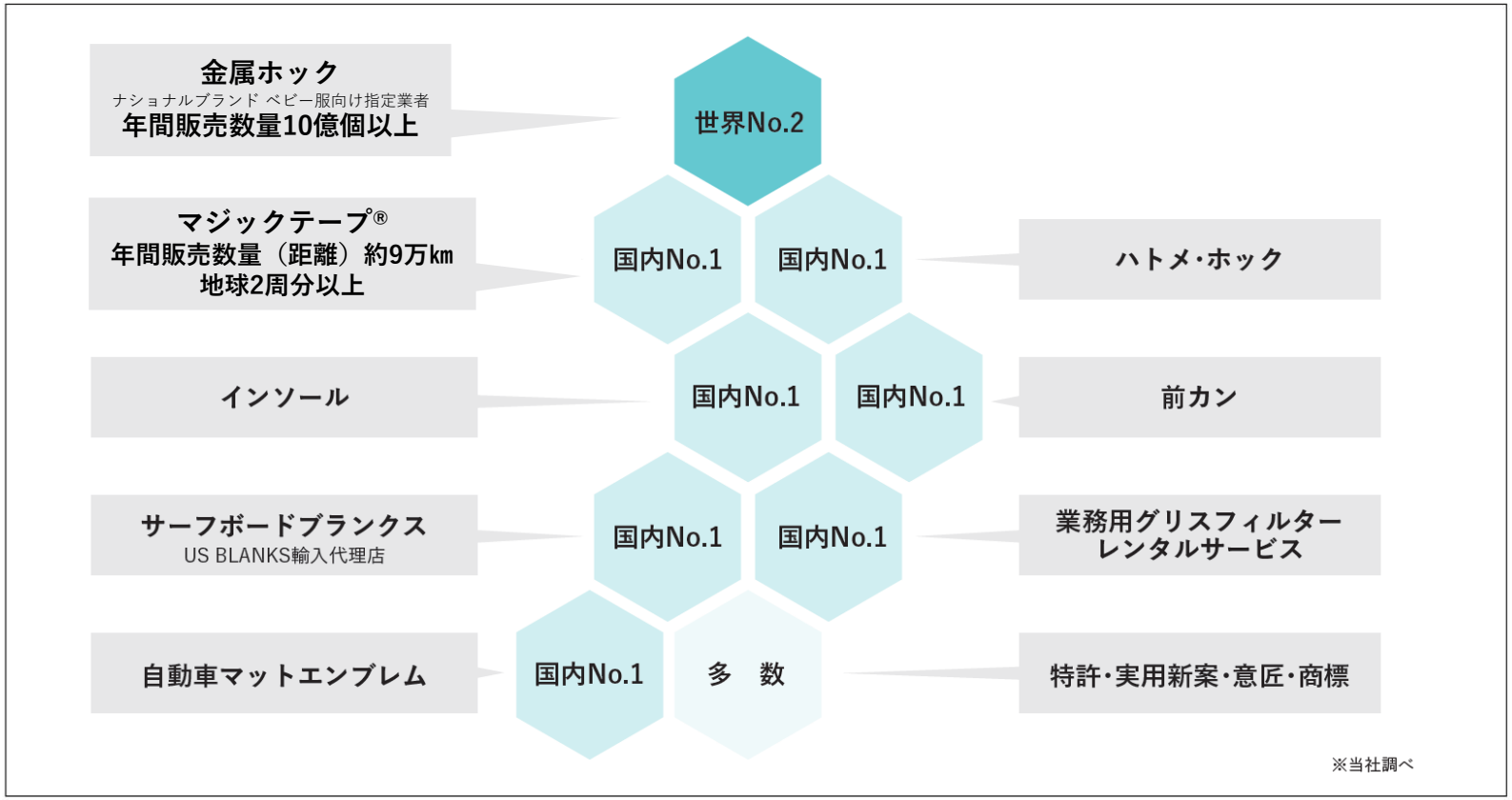
製造・調達・販売網が世界各地に広がる。
協力工場・代理店も世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

ニッチ分野をターゲットに、トップクラスのシェア

**ニッチでありながら、日常生活に欠かせないパーツのシェアを国内外で獲得。
特に国内アパレル業界では、圧倒的な認知度とブランドを確立し、アパレルブランドにとって「パーツに困ったら、まずモリトに相談しよう」という便利屋的な存在。**



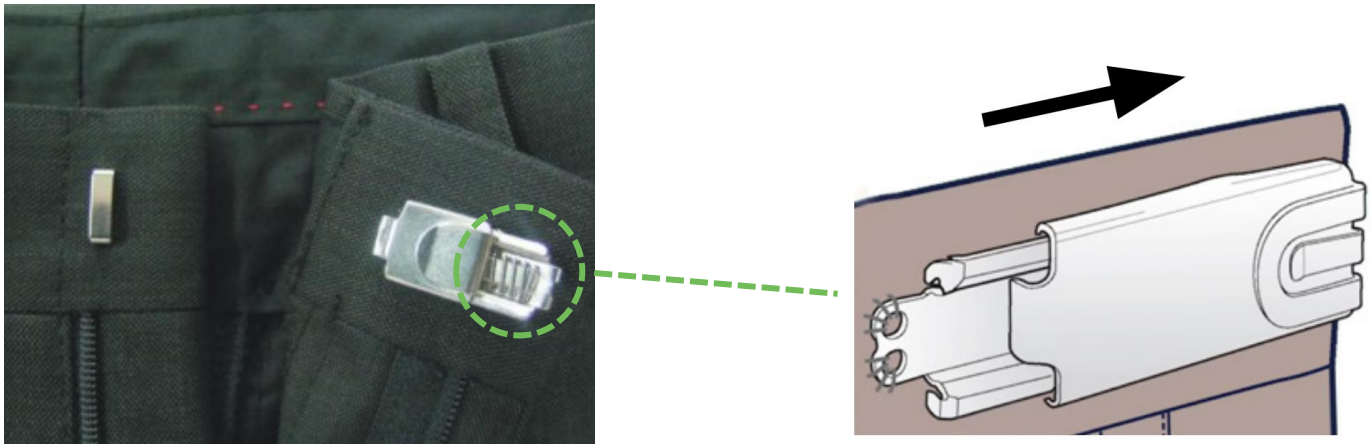
© 2026 MORITO CO.,LTD.

なぜ高シェアなの？　①機能性・デザインなどを加えた高付加価値商品

顧客・消費者ニーズを叶える付加価値を加えたオリジナル商品を独自に開発・
オーダーメイドを行い、高機能・高品質を求める顧客の採用を獲得。
一般的な機能のみの商品よりも利益率が高い。

商品名：らくらく感®

フォーマルウェア、ユニフォーム等のボトムスのファスナーの上に使われる「前カン」と
バネを組み合わせた商品。
食事後などウエストのサイズが変わると、バネの力で自然に伸縮し、圧迫感を軽減。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

なぜ高シェアなの？　②グローバル対応の品質管理・サポート体制

地域ごとに異なる品質基準に対応するため、全世界で販売可能な品質基準のパーツを取り扱い、
ベビー・ワーキング・メディカルなど高品質が求められる業界に強み。
グローバルで常に安定した品質管理を徹底。商品不良など万が一のトラブルには、
国内外の拠点スタッフが直接お客さまの工場に訪問し、サポート。



←縫製工場での様子

使用するホックの種類と取り付ける生地に
合わせて、機械をメンテナンスするなど、
顧客の生産サポートをモリトグループで実施。
海外の縫製工場でも同様に対応し、
商品不良を未然に防ぐ。

© 2026 MORITO CO.,LTD.

業績概要

© 2026 MORITO CO.,LTD.

2025年11月期　通期業績サマリー

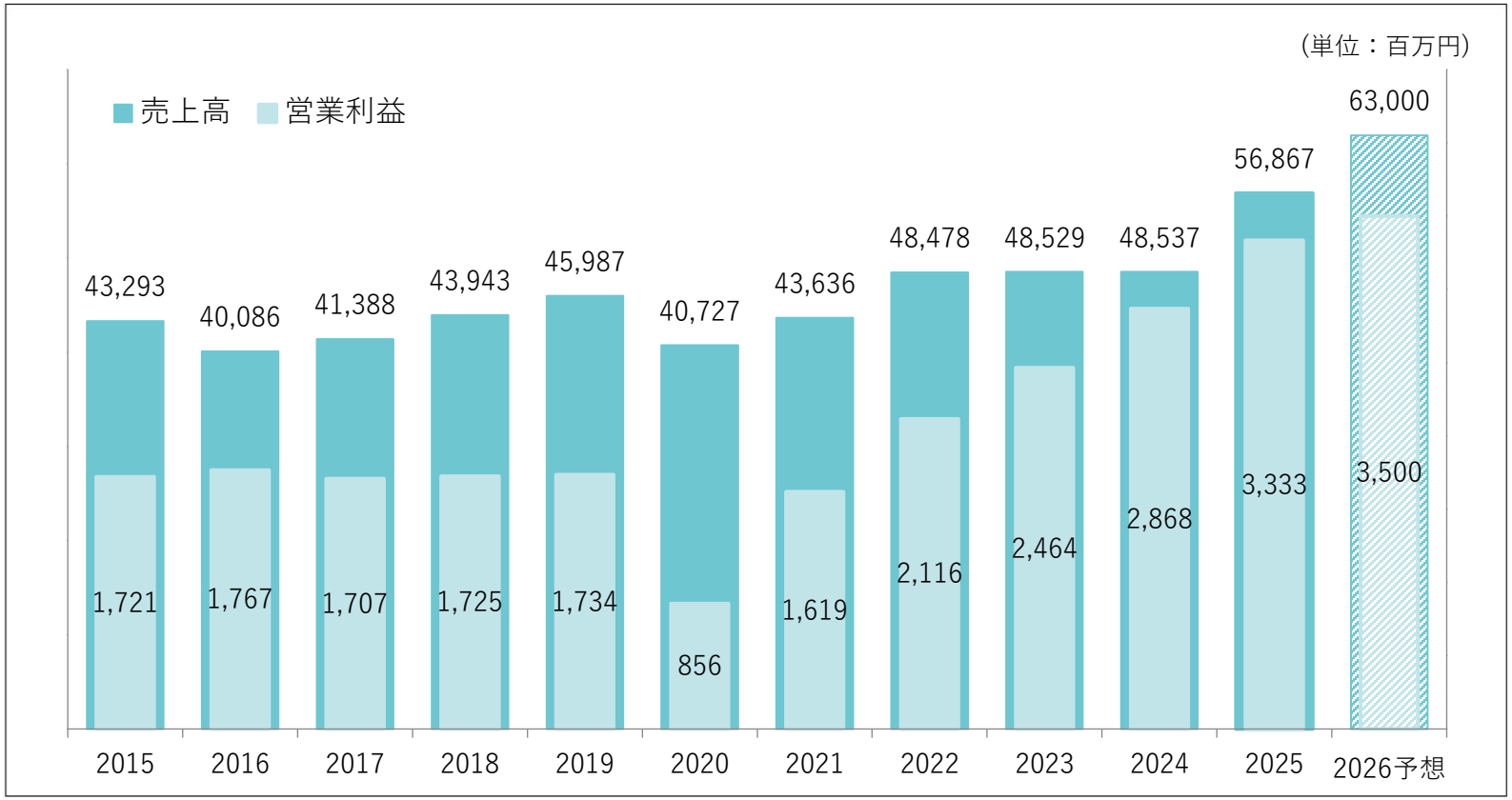
（百万円）	（参考）2023	2024	2025	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	48,529	48,537	**56,867**	+8,330	+17.2%
売上総利益	13,265	14,138	**17,387**	+3,249	+23.0%
（%）	(27.3%)	(29.1%)	**(30.6%)**		
経費	10,801	11,269	**14,053**	+2,784	+24.7%
（%）	(22.3%)	(23.2%)	**(24.7%)**		
営業利益	2,464	2,868	**3,333**	+464	+16.2%
（%）	(5.1%)	(5.9%)	**(5.9%)**		
経常利益	2,771	3,003	**3,624**	+621	+20.7%
（%）	(5.7%)	(6.2%)	**(6.4%)**		
当期純利益	2,217	2,572	**2,916**	+344	+13.4%
（%）	(4.6%)	(5.3%)	**(5.1%)**		

※2025年11月期実績には、Ms.IDの9か月分、ミツボシコーポレーションの6か月分の実績を含む

© 2026 MORITO CO.,LTD.

連結売上高と営業利益の10年の推移

3期連続で売上高・営業利益が過去最高を更新。（2023年～2025年11月期）
2026年11月期も売上高・営業利益ともに過去最高を狙う。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

2025年11月期　連結貸借対照表

自己資本比率は7割を超え、健全な財務状況。（2025年11月期： 71.8%）

（単位：百万円）

	2024	2025
資産の部		
流動資産	32,049	31,001 (- 1,048)
固定資産	20,427	24,497 (+4,070)
資産合計	52,476	55,498 (+3,022)

	2024	2025
負債の部		
流動負債	8,886	10,217 (+1,330)
固定負債	4,313	5,448 (+1,135)
負債合計	13,200	15,666 (+2,465)
純資産の部		
株主資本	33,129	33,221 (+92)
その他の包括利益累計額	6,147	6,610 (+463)
純資産合計	39,276	39,832 (+556)
負債純資産合計	52,476	55,498 (+3,022)

自己資本比率　2025/11期 ：71.8%
（2024/11期： 74.8%）

© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長に期待! これからのモリト

© 2026 MORITO CO.,LTD.

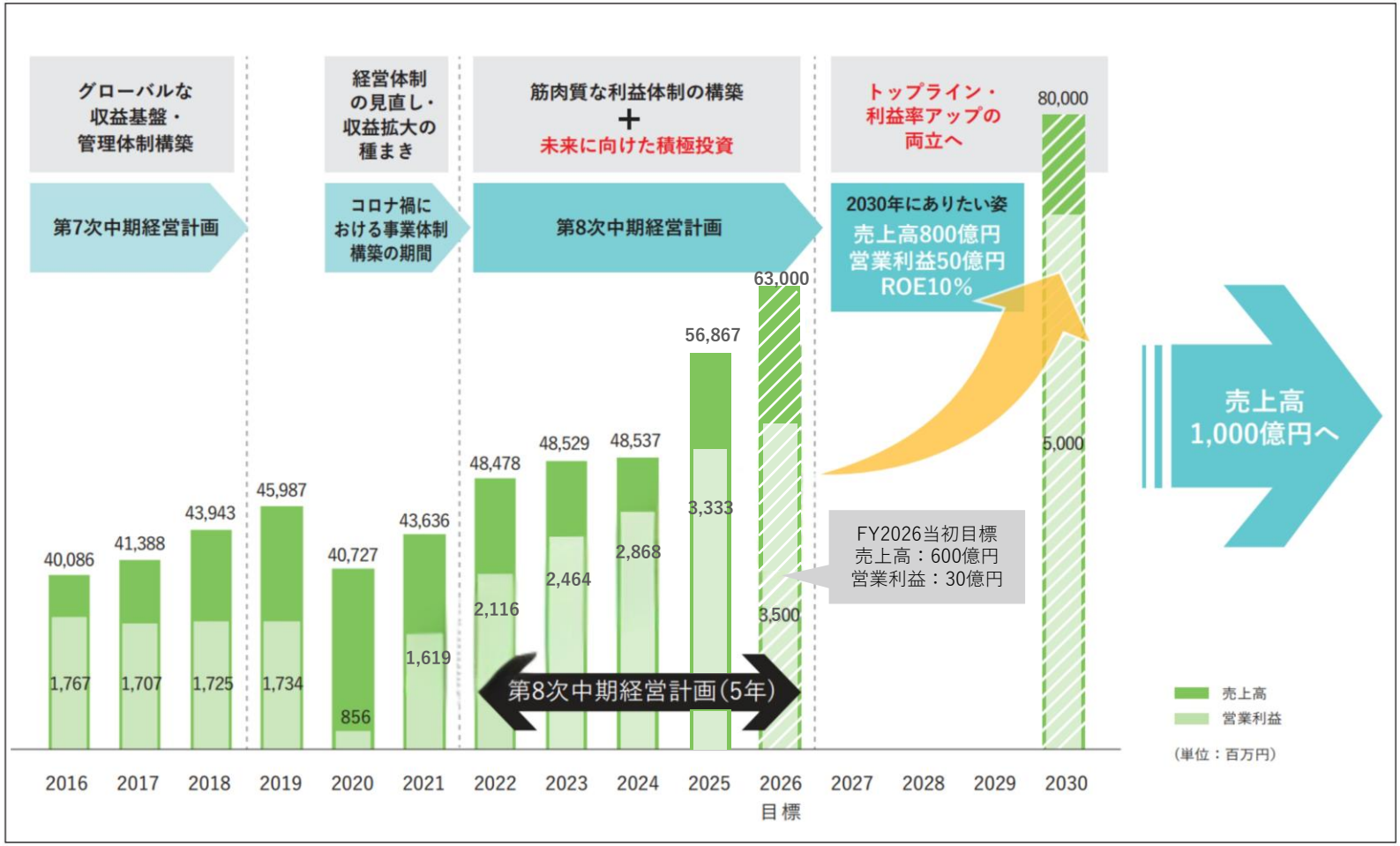
中長期方針　モリトが目指す姿

小さなパーツで世界を変え続ける
グローバルニッチトップ企業

© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画（2022年11月期~2026年11月期）
長期目標売上高1,000億円に向けて

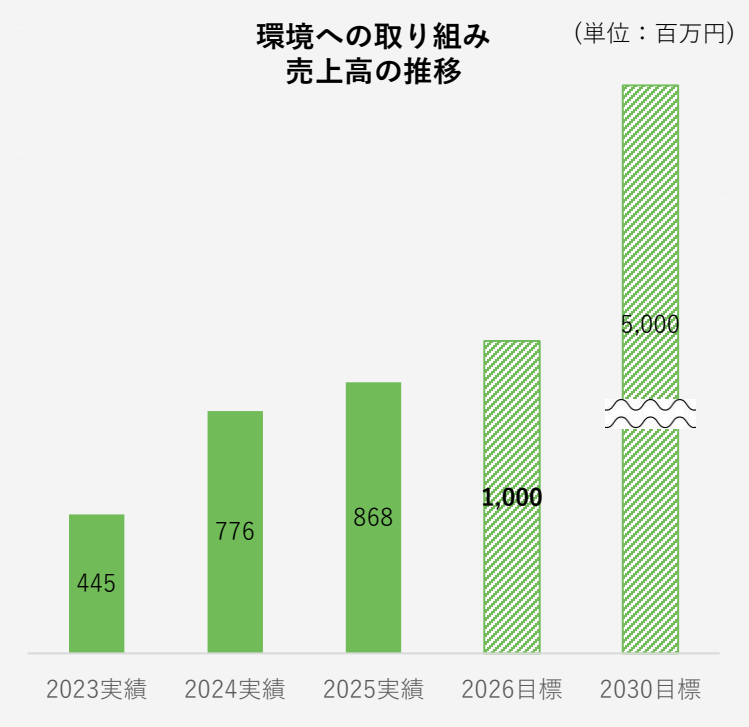
構造改革が功を奏し、営業利益目標30億円は前倒しで達成済。売上高も当初目標を超える予想。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画　成長戦略【環境への取り組み Rideeco ®(リデコ)】

Rideeco®（リデコ）は、2021年より開始したモリトグループの環境配慮型の商品開発等の取り組み。環境配慮への意識の高いアパレルブランド向けを中心に、環境への取り組みに関連する販売で、2026年11月期までに売上高10億円を目指す。



FY2025　MURON®（ミューロン）採用実績



「HELLY HANSEN×agnès b.」コラボレーションの一部のアイテム



「HELLY HANSEN」の2025春夏シーズンの一部商品に採用



大阪万博NTTパビリオンのバケットハット・バッグに採用

© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画　成長戦略【環境への取り組み Rideeco ®(リデコ)】

**日本に漂着するプラスチックごみの総重量の内、約40%が廃漁網・ロープと
されています※。その廃漁網をリサイクルした素材を使用した糸・資材を開発・販売。
採用・引合いが増加し、売上規模は拡大中。 新商品開発にも注力。**

STEP 1



廃漁網の回収

北海道エリア
(漁師)

各漁業、漁師さんに
分別回収の協力を依頼。

STEP 2



分別・減容

北海道エリア
(協力工場)

回収した廃漁網を
素材ごとに分別し、圧縮処理。

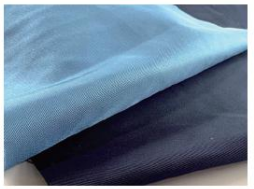
STEP 3



洗浄・裁断・加熱・ペレット化

愛知県一宮市
(リファインバース社)

廃漁網を洗浄し、
再生ペレットを生産。
※製糸工程は海外工場で実施







豊岡鞄® スクールリュック「UMI」



コクヨ株式会社のペンケース
「ネオクリッツ®＜From Fishing Nets Recycling＞」



HELLY HANSEN×agnès b. 2025 FIBERPILE Collection」のプロダクトの一部に採用

※ 平成28年度の環境省による海洋ごみの調査。

© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画　成長戦略【環境への取り組み Rideeco ®(リデコ)】

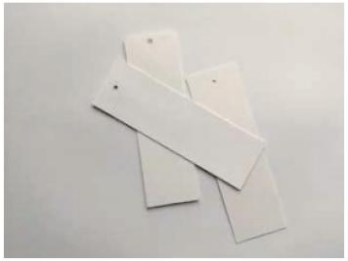
**縫製工場で出るはぎれなどを原料とした混抄紙（こんしょうし）ASUKAMI®。
食品や植物などの天然繊維だけでなく、化学繊維を原料として活用できることが
最大の強み。株式会社ワールドの下札・封筒・名刺に採用され、大学などとの
産学連携の取り組みも実施。**





化学繊維を含む残布などから
アパレル商品等に使われる
下札や紙袋へ





© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画　成長戦略【プロダクト関連事業 厨房機器関連サービス】

● **事業効率化に向けた設備投資**

→ 自社工場のオートメーション化、
最先端の洗浄設備を各拠点へ

● **サービス提供地域の拡充**

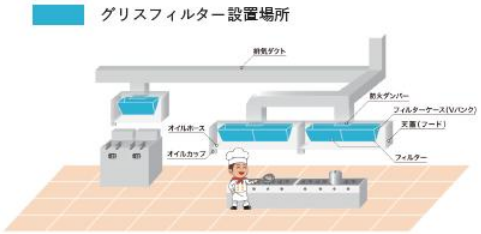
→ 関東・関西・北海道・中四国 等

● **安全で快適な環境を実現する
トータルメンテナンスサービス
の提供の拡充**

→ 飲食店・スーパー・食品工場・ホテル 等

厨房機器関連サービス　事業概要
エース工機株式会社では、飲食店等の厨房の排気ダクトに使われる各種フィルターのレンタルサービス事業を展開し、フィルターの交換・配送・洗浄を実施。厨房排気設備清掃事業も実施し、施設内の快適環境の実現・火災リスクの軽減に寄与。





グリスフィルター　飲食店などの厨房の排気ダクトの入口部に設置されるフィルター。
ダクトの油汚れを抑え、火災を抑制。





自社工場設備　自動制御のクレーンにより、フィルター洗浄・乾燥を自動化

© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画 成長戦略【BtoC事業への注力】

BtoB事業が主軸であることは変えず、収益性を高め、消費者・顧客ニーズをより理解し、BtoB事業へ還元することを目的に、BtoC事業へ注力。2024年12月にM&Aをした㈱Ms.IDのノウハウを活かし、既存のBtoCブランドの成長を目指す。

BtoCブランドの一部



52 BY HIKARUMATSUMURA
バッグブランド



ZAT
防水素材バッグブランド



SELECT MOCA(セレクトモカ)
EC専業レディースアパレル



YOSOOU®
ダウンウェアブランド



POLeR®
アウトドアブランド



TEN.(テン)
シルバーアクセサリーブランド

© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　投資戦略

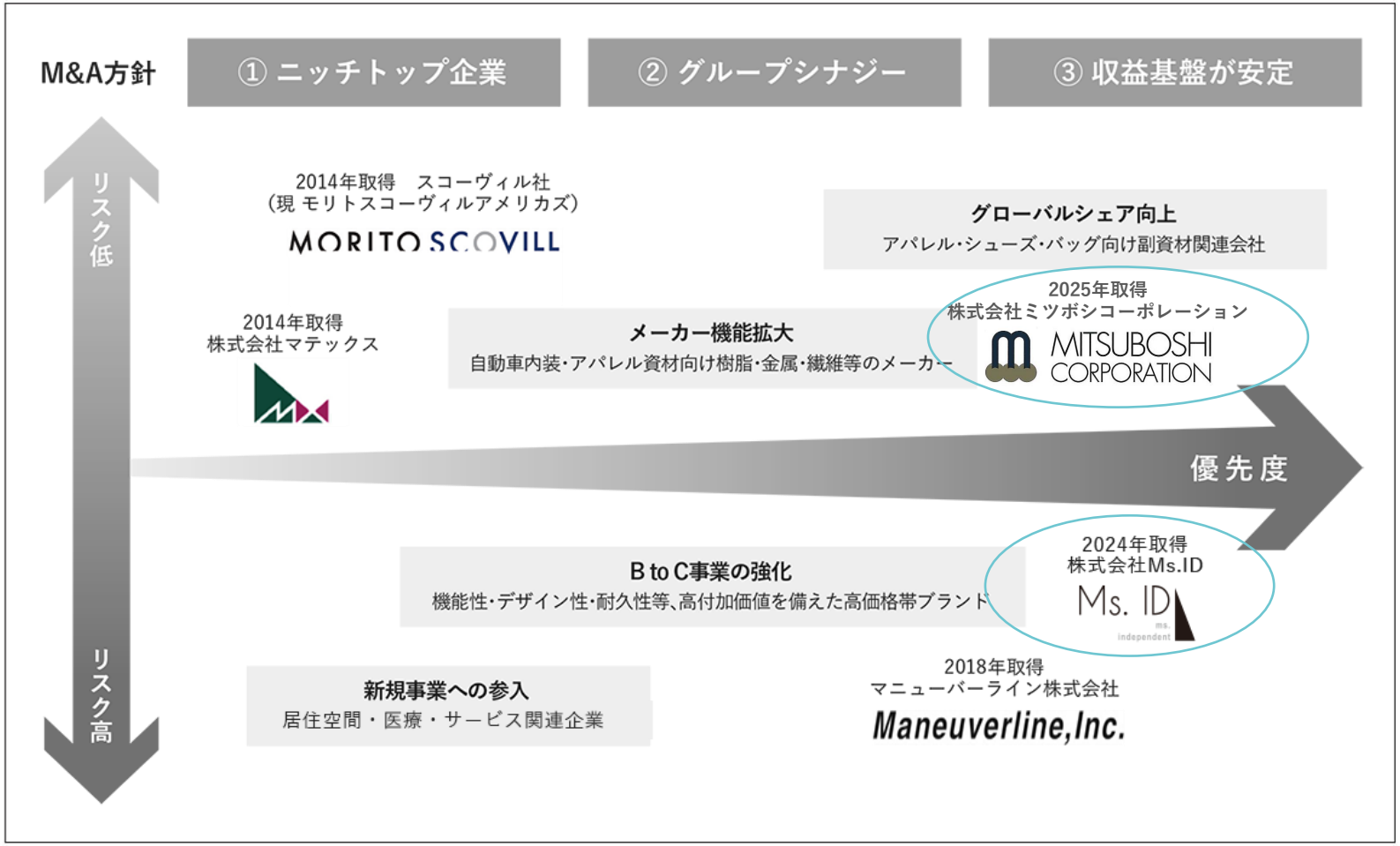
ベトナム自社工場増設のための土地購入など、ROE改善に向けた、未来の成長のための投資を継続。

成長投資	2024～2026年11月期の投資合計金額	2024～2025年11月期主要実施内容	
新商品　開発費	5億円	・高級アパレルブランドへの拡販のため個展開催	
環境負荷低減への取り組み	5億円	・アメリカ自社工場でのメッキ加工効率化 ・サステナブル商品の開発・拡販	
設備投資	6億円	・アメリカ・ベトナム自社工場での設備投資 ・厨房機器関連サービス 自社センター設立・設備強化	実績 18.5億円
BtoC強化	3億円	・52 BY HIKARUMATSUMURA・YOSOOUの広告宣伝 ・既存BtoC商品のラインアップ強化 ・DtoC事業の企画・開発	
データ基盤整備、BI機能強化	5億円	・データ基盤整備、BI機能強化 ・AIの活用	
人的資本への投資	1億円	・従業員エンゲージメント向上を目指した取り組み	
M&A	50億	・Ms.ID、ミツボシコーポレーション子会社化 ・案件は増加中、今後も積極的に検討	実績 54.4億円
株主還元	60億	・基本方針に基づく配当、自己株式取得	実績 62.8億円

© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　投資戦略【M&A】

①～③の方針が基本要件。現中計で2件のM&Aを実施。今後も積極的にM&Aを検討。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

投資戦略【M&A】実績

BtoC事業の強化・グローバルシェアの拡大を狙い、2件M&Aを実施。シナジー創出で更なる成長を目指す。

Ms.ID

Ms. ID
ms. independent

ECに特化したアパレル・アクセサリーブランドを運営。
収益性向上に加え、Ms.IDのマーケティングノウハウ
を当社既存BtoCブランドへ活用し、同時に資材を
モリト調達に切り替えることでシナジーを見込む。
さらにモリトグループのグローバルネットワークを
活用し、Ms.IDのブランドの海外展開を狙う。

（Ms.ID 2024年8月期、シーティー・アソシエイツ2023年12月期
単純合算実績）

純資産	1,475 百万円
総資産	2,467 百万円
売上高	3,893 百万円
営業利益	442 百万円

ミツボシコーポレーション

MITSUBOSHI CORPORATION

作業服・ユニフォーム業界を中心とした
「服飾資材総合販売事業」を主に展開。
服飾パーツに加え、生地・糸・ネーム・タグなどを
アパレルメーカーへセット販売を行う。
この販売方法・商品のノウハウを獲得し、
モリトグループのグローバルネットワークを
掛け合わせることで、売上規模の拡大を見込む。

（2024年3月期実績 ）

純資産	2,262 百万円
総資産	5,335 百万円
売上高	7,462 百万円
営業利益	66 百万円

© 2026 MORITO CO.,LTD.

次期中期経営計画に向けた現状の課題

下記のような課題を解決するため、次期中期経営計画の中で検討中。(2026年夏頃完成を目指し作成中)

アパレル関連事業	①2つの自社工場、日本製のホックでそれぞれ規格が異なる →製造地ごとにクオリティに差があり、顧客によっては日本製の輸出が必須、地産地消が完全でない ②服飾資材メーカーに近いポジションでありながら、自社製造が少ない
プロダクト関連事業	①OEMなど顧客需要に左右されやすいビジネスが多く、大幅な収益改善が難しい ②モリト自社ブランドの販売比率が少ない ③厨房機器関連事業の既存自社サービスセンターだけでは、日本全国を網羅できない
輸送関連事業	①調達が多く低収益、自社製造が少ない ②日系自動車メーカーの生産台数の多い北米地域での調達品目が日本・中国より少なく、地産地消が完全でない
グループ全体	M&Aを実施した企業とのシナジー創出が未完

© 2026 MORITO CO.,LTD.

株主の皆さまへの還元

© 2026 MORITO CO.,LTD.

利益配分に関する基本方針

株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置付け、投資案件および財務状況（純資産等）を勘案の上、下記の方針に基づき、配当額を決定。

安定的かつ継続的配当の実現

親会社株主に帰属する当期純利益に対する

配当性向は50%以上を基準

連結自己資本配当率

DOE 4.0%基準

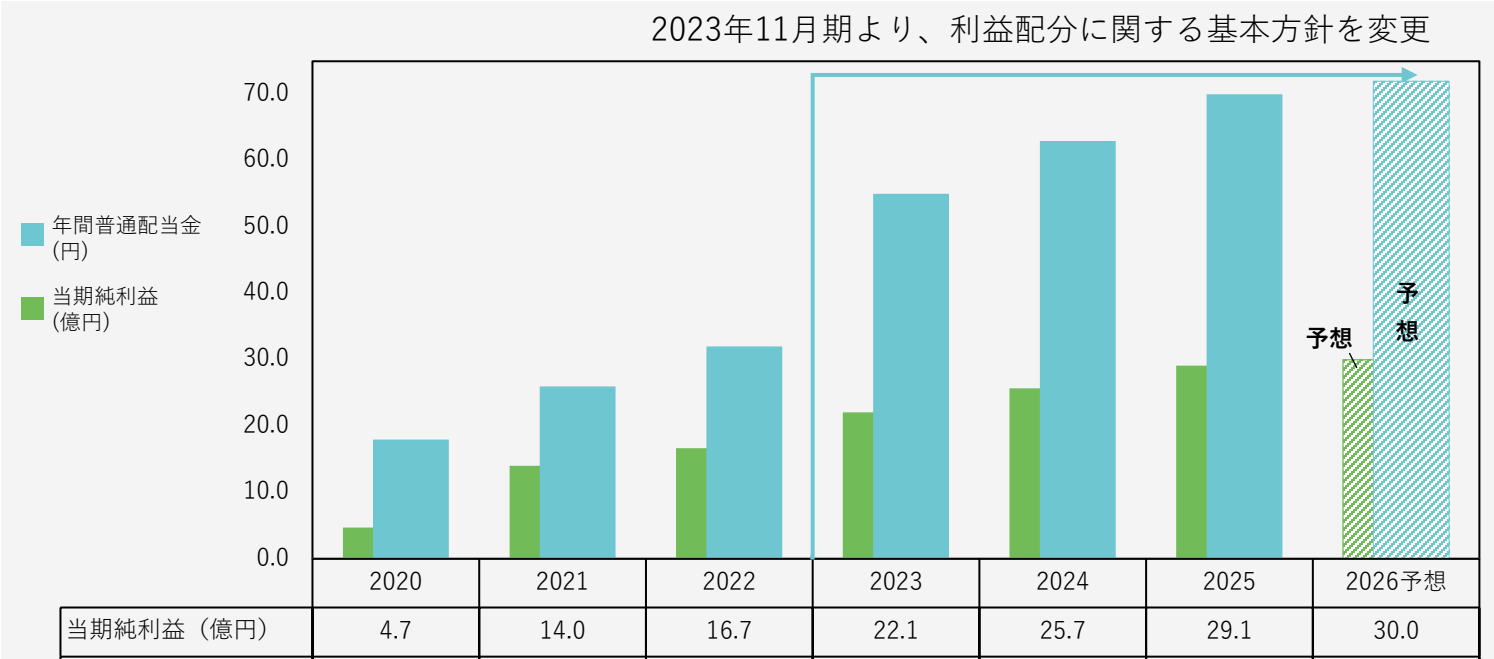
機動的な自己株式取得および適切な消却の実施を引き続き検討

※ ただし、特別な損益等の特殊要因により税引後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定します。

© 2026 MORITO CO.,LTD.

配当金・配当性向・DOEの推移

2020年11月期から6期連続で増配、年間配当は前期比＋2円の72円を予想。



	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026予想
当期純利益（億円）	4.7	14.0	16.7	22.1	25.7	29.1	30.0
年間配当（円／株）	18.0	26.0	32.0	55.0	63.0	70.0	72.0
中間配当（円／株）	13.25	9.0	13.5	27.0	29.0	33.0	36.0
期末配当（円／株）	4.75	17.0	18.5	28.0	34.0	37.0	36.0
配当性向（%）	104.8	50.6	51.4	66.2	64.9	62.6	61.4
DOE（%）	1.5	2.2	2.4	3.9	4.3	4.6	4.6

© 2026 MORITO CO.,LTD.

まとめ

✓生活に欠かせないパーツ

✓ グローバルニッチトップ

✓安定した業績と財務状況

✓高配当利回り

モリトの株式情報

会社名	**モリト株式会社**	証券コード	**9837**
株式上場	**東証プライム市場**	単元株数	**100株**
決算期	**11月末**	配当	**年2回**

© 2026 MORITO CO.,LTD.

本資料のお取扱いについて

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、
当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、
完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき
当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されて
いる将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先　　〒541-0054　大阪市中央区南本町4-2-4
モリト株式会社　IR・広報部　　E-mail：ir@morito.co.jp

© 2026 MORITO CO.,LTD.

MORITO

あたりまえに、新しさ。

© 2026 MORITO CO.,LTD.